

令和6年度主な取組内容の検討

政策目標	重点施策		取組		概要	令和5年度の具体的な取組内容					今後の方向性	令和6年度の取組内容(予定)																					
するスポーツ	1	幼児・子どもの実施者を増やす	1	幼児の運動遊びを推進する	・まちづくり出前講座にスポーツ推進委員と協議の上検討した幼児向けの運動あそびプログラムを追加し、保育所や幼稚園に伊丹市スポーツ推進委員を指導員として派遣したり、資料提供等を行うことで、遊びながら体を動かす楽しさを子どもたちに伝える	・伊丹スポーツセンターにおいて各種キッズ・ジュニア教室を、緑ヶ丘体育館において「リトルキッズ運動教室」等幼児向け教室を実施。					継続	・市内の各スポーツ施設において乳幼児向けの教室を継続して実施する																					
			2	児童・生徒の体力向上を推進する	・各学校で行う体育授業の準備運動等に加えて行う筋力トレーニング等の「補助メニュー」や「サーキットトレーニング」を充実、活用することで児童・生徒の体力の更なる向上を図る ・全国体力調査や伊丹市スポーツテストの実施結果を分析・評価し、全国平均を下回っている種目全ての学校において、全ての種目で全国平均を上回るように取り組む	【参考】R5年度全国体力・運動能力調査 体力合計点 <table><tr><th></th><th>小5男子</th><th>小5女子</th><th>中2男子</th><th>中2女子</th></tr><tr><td>伊丹市</td><td>52.70</td><td>53.35</td><td>45.63</td><td>51.89</td></tr><tr><td>全国</td><td>52.59</td><td>54.28</td><td>41.32</td><td>47.22</td></tr><tr><td>差</td><td>0.11</td><td>▲ 0.93</td><td>4.31</td><td>4.67</td></tr></table>						小5男子	小5女子	中2男子	中2女子	伊丹市	52.70	53.35	45.63	51.89	全国	52.59	54.28	41.32	47.22	差	0.11	▲ 0.93	4.31	4.67	継続	・関係部局と連携して、子ども達の体力向上に向けた取組を継続する	
				小5男子	小5女子	中2男子	中2女子																										
			伊丹市	52.70	53.35	45.63	51.89																										
	全国	52.59	54.28	41.32	47.22																												
	差	0.11	▲ 0.93	4.31	4.67																												
	3	幼児・児童・生徒の運動・スポーツ好きを増やす	・各学校園で行う体育の授業等で「遊び」「ゲーム」の要素を多分に盛り込む等工夫・改善を行い、実践することで、子どもたちの運動・スポーツに対する苦手意識の払拭を図る ・学校園以外の地域等においても等しく自由に参加ができるよう、運動やスポーツを楽しむ機会を提供	・各学校園の要望に応じ、指導主事を派遣し、指導・補助の実施。 ・伊丹スポーツセンターで実施の「キッズフェスいたみ」において、野球やサッカーなどの体験のほか、グラウンドゴルフ等のニュースポーツの体験のブースを設け、子どもが気軽に様々なスポーツを知り、身体を動かす楽しさを知ることができる機会を提供					継続	・各種出前講座等を通じて、スポーツ推進委員を派遣し、地域住民にスポーツや運動を楽しむ機会を継続して提供する																							
	4	部活動地域移行において、生徒のスポーツ活動の機会を確保する	中学校部活動の地域移行に向けた環境整備において、指導者の養成・確保など受け皿となる地域の体制づくりに取り組み、生徒が、引き続き、継続的にスポーツ活動に親しみ、スポーツ技術や体力の向上を図ることができる機会を確保	・市内全8中学校において、各校1部ずつ地域移行の実証事業を実施。9月頃より休日の活動を地域クラブ活動として開始 ・学校、地域スポーツ団体、保護者その他の関係者からなる「伊丹市中学校部活動の地域移行に関する協議会」を開催。実証事業の成果・課題の共有や、今後の進め方について意見聴取					充実	・令和6年度も、引き続き市内8中学校において、運動部については各校1部ずつ地域移行の実証事業を実施する ・地域移行の協議会において、引き続き実証事業の成果と課題の共有をはじめ、国の改革推進期間後の本市の地域移行の時期・方法等を検討する ・保護者への理解醸成のための学校説明会の開催や種目ごとに今後の活動のあり方を検討する種目別検討会を実施する ・スポーツ協会をはじめ関係団体との協議を実施する																							
	2	若者・壮年の実施者を増やす	1	壮年が職場や通勤で楽しめるキャンペーンやプログラムを推進する	・仕事や家事の合間・通勤時間内にできるストレッチ運動を奨励する等、生活の隙間に運動時間を組み込むようライフスタイルの変換を提案 ・仕事や家事の合間・通勤時間内にできる有効なストレッチ運動、筋力トレーニング等のプログラム・メニューの内容について、積極的に情報発信	・気軽に運動を楽しむきっかけとなるようなキャンペーン実施の検討(健康政策課(健康チャージポイント事業の更なる連携)、他課事業とのコラボ等					充実	・本市が取り組む健康チャージポイント事業をはじめ、関係部局と連携して仕事や家事の合間・通勤時間内にできる運動に関する情報発信を実施する																					
			2	気軽に利用できる運動施設等の情報を発信する	・仕事終わりに気軽に立ち寄れたり、週末に利用できるスポーツ施設や健康遊具のある公園等の情報を掲載したスポーツマップの作成等により、積極的に発信することで、自身の「サードプレイス」として運動・スポーツのできる場所を組み込む壮年を増やし、壮年のスポーツ実施率の向上を図る	—					充実	・市内のスポーツ施設をはじめ、市内でスポーツや運動が出来る場所等を一元化したマップ等を作成し、市ホームページ等で広く市民に発信を行う																					
3			医療とスポーツの連携を促進する	・令和3(2021)年度にスポーツセンターが厚生労働省の健康増進施設の認定を受けたことをアドバンテージとし、医療機関と連携・協力のもと、健康増進を目的とした安全かつ適切な運動プログラムの実施を図る ・スポーツと健康についての情報発信を行い、スポーツ実施率の向上を目指す	・スポーツセンター「健康増進関連事業」として「からだ☆らぶ」を、週に5回実施。 ・スポーツ実施率の低い40～50代をメイン対象とし、概ね8週間の継続した運動習慣をつけることを目的として実施している。					継続	・スポーツセンター実施の健康増進事業を継続して実施する。加えて、スポーツセンターが指定運動療法施設の認定を受けている事を、事業実施とあわせて市ホームページ等で発信する。																						
3	女性・高齢者・ファミリーの実施者を増やす	1	女性や高齢者が楽しめる教室やイベント等を充実する	・「ゆるスポーツ(運動が苦手な人でも、誰もが気軽に楽しめるスポーツ)」などのスポーツプログラムの提供や、スポーツ施設における託児サービスの拡充等に取り組む ・誰もが身体を動かすことを楽しみ、健康増進意識が高まるよう、隙間時間でできる運動の情報提供を図る ・女性がスポーツをする動機づけにつながるよう、健康増進を広く捉えたスポーツプログラムの作成や情報を提供する ・フレイル検診等の結果を活用し、介護予防に資する運動等の場の情報提供を継続して行う ・高齢者にも適した新しいスポーツやラジオ体操等を取り入れた運動・スポーツプログラムを提案し、高齢者に対するスポーツへの参加機会の提供を継続して行い、高齢者が日常的にスポーツに親しみ、健やかで豊かな生活を送ることができるよう活動を支援	・シニア向け教室(健康体操、スイミング、テニス、卓球等)の開催(スポーツセンター、緑ヶ丘体育館) ・女性を主対象とした教室(ヨガ、フットサル等)の開催(スポーツセンター、緑ヶ丘体育館) ・教室受講者等のための託児サービスの実施(スポーツセンター) ・レディーススポーツ大会の開催 ・伊丹レディーススポーツ連絡協議会事業「健康スポーツ広場」開催の支援					継続	・市内の各スポーツ施設、伊丹市レディーススポーツ連絡協議会等との連携において、働き世代・子育て世代や、壮年、女性、高齢者向けの教室や大会等を継続して実施する																						

令和6年度主な取組内容の検討

政策目標	重点施策		取 組		概要	令和5年度の具体的な取組内容	今後の方向性	令和6年度の取組内容(予定)		
みるスポーツ	4	障がい者の実施者を増やす	2	ファミリースポーツの教室やイベント等を充実する	・家族揃って気軽に楽しく参加できる運動あそび等を紹介したり、スポーツイベントを充実させ、参加を促す	・「スポーツの日のつどい」における新たなファミリー向け企画の検討・実施(例:ウォーキングサッカー体験会(親子連れ合計53名参加)) ・伊丹スポーツセンターや緑ヶ丘体育館の事業で、親子体操、リズム・運動遊び、親子スイミング、親子サッカー教室等各種展開	継続	・「スポーツの日のつどい」におけるファミリー向けのスポーツイベントを継続して実施する ・各スポーツ施設におけるファミリー向けの教室等を継続して実施する		
			3	歩きやすいウォーキングコースやジョギングコース及び自転車専用レーン等の整備を進める	・市内に点在する公園や街並み、河川敷等を活用して、市民が気軽に楽しむことができるウォーキングコースを整備・設定するとともに、それらを活用したウォーキング等のまちを舞台とするスポーツイベントの実施を検討 ・「伊丹市自転車活用推進計画」に基づき、関係部局と連携し、市民が安全に自転車を利用できる環境づくりに努める	・「伊丹を歩こう!ワンデーウォーキング」の開催(11月) ・「伊丹市自転車活用推進計画」に基づき、自転車レーン等の整備を推進	継続	・関係部局と連携して、ウォーキング等のイベントや自転車利用に関する情報発信を継続して実施する		
			1	障がい者が楽しめる教室やイベント等を開催する	・現在取り組んでいる事業(あすなろ教室等)の内容の改善・充実を図り、体力や年齢、技術、関心、個々の適性等に応じて楽しむことができるよう、関係機関や各課との連携を図る ・「スポーツの日のつどい」における「障がい者スポーツイベント」を充実させる	・あすなろ教室の内容の改善 ・10月の「スポーツの日のつどい」において、ポッチャ体験会を実施(141名参加)	継続	・障がい者向けのスポーツや運動に関する教室やイベント等を継続して実施する		
			2	障がい者や健常者が共に楽しめるインクルーシブなプログラムを推進する	・障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめる運動・スポーツの振興を図る。特に、「ふうせんバレーボール」等のインクルーシブなスポーツ競技が周知され、競技人口が着実に増えていくきっかけとなるような大会やイベントなどの実施を検討	・緑ヶ丘体育館において「車いすバスケットボール体験会」実施 ・アイ愛センター主催の障がい者スポーツ関連事業へのスポーツ推進委員の講師派遣 ・3月「伊丹市親善車いすバスケ大会」、「伊丹市ポッチャ大会」の開催(市内外からそれぞれ約100名づつ参加)	継続	・障がい者スポーツ協会と連携して、多くの市民が楽しめるスポーツイベント等を継続して実施する		
	5	スポーツクラブ21の充実	1	スポーツクラブ21の会員数を増やす	・地域住民のニーズに応じた多様なイベント・大会等を行い、スポーツクラブ21の会員数の増に取り組む ・スポーツクラブ21の認知度を高めるため、市ホームページや広報紙をはじめ、様々な手法で周知を図る	・スポーツクラブ21の認知度を上げるための情報発信の検討と実施(SC21のHPのビジュアル化等) ・転入者への周知(市民課と調整)	充実	・各スポーツクラブ21の活動内容等を新たに掲載するなど、既存のホームページの充実を図り情報発信を行う ・スポーツクラブ21の設置目的や活動内容等を記載した簡易なパンフレットを作成し、市民及び転入者へ周知を行う ・SNSの活用		
			2	スポーツクラブ21の運営体制を強化する	・スポーツクラブ21と行政やスポーツ団体、地域自治組織等が共有し、会員や指導者、運営スタッフ等の人材確保、財政基盤の確立等の課題解決に向けて連携・協働ができるような体制を整備 ・障害のある人もスポーツに参加しやすくするため、スポーツクラブ21やスポーツ団体、市障害者スポーツ協会等との連携・協力のもと進める	スポーツクラブ21連絡協議会において、各SC21代表者とスポーツ推進委員と今後の持続した運営のあり方について意見交換し、検討(財源、人材、広報等)	充実	・各スポーツクラブ21の取組状況や会員獲得に向けた方法等を共有する場として、SC21連絡協議会等による情報共有を図り各SC21の体制強化に努める。		
	1	“みるスポーツ”環境の整備	1	客席や仮設スタンド、観客コーナー、芝生等、身近な“みるスポーツ”の環境を整備する	・市内各スポーツ施設について、みるスポーツの環境を考え、客席や観客コーナー等の計画的な整備を実施	市内公共スポーツ施設の整備について検討	充実	・令和5年度中に部内で取りまとめた「基本的な方針」をたたき台として、スポーツ推進審議会のご意見を伺いながら、施設整備の基本的な方針及び個別施設の整備の方向性、ならびに短期・中期・長期の検討期間分類等を含む「(仮)スポーツ施設整備基本計画」を策定予定		
			2	“みるスポーツ”文化の充実	1	トップアスリートやユーススポーツ等を“みる”機会を推進する	・本市で毎年開催している「スポーツの日のつどい」等の場で、市民がトップアスリートに触れる機会を増やし、スポーツの楽しさ、高揚感を間近で感じ、スポーツを行う意欲の向上に繋げる	・甲子園出場校が大会期間中スポーツセンターへ練習に来ていることをホームページで周知 ・住友電工陸上フェスタにおける現役陸上選手による地元小学生を対象とした陸上教室。スポーツセンターでのタイガースOBによる野球指導	継続	・各スポーツ施設ならびに民間施設で実施されるトップアスリートと触れ合うスポーツイベント等を継続して市民に情報発信を行う
			3	“みるスポーツ”のバリアフリー環境の整備	1	スポーツ施設におけるユニバーサルデザインを推進する	・ユニバーサルデザイン化に向け、県の福祉のまちづくり条例その他基準規格及び利用者の要望等に基づき、計画的に改修等を進める	市内公共スポーツ施設の整備について検討	充実	・令和5年度中に部内で取りまとめた「基本的な方針」をたたき台として、スポーツ推進審議会のご意見を伺いながら、施設整備の基本的な方針及び個別施設の整備の方向性、ならびに短期・中期・長期の検討期間分類等を含む「(仮)スポーツ施設整備基本計画」を策定予定(再掲)
			4	競技力の向上	1	子どもや青少年、壮年、高齢者、障がい者の競技力の向上を推進する	・競技スポーツ選手の競技力向上や競技者の拡大を図る	・大会出場を奨励するための各種スポーツ大会の全国大会、国際大会への出場選手や指導者に対する助成金交付の実施 ・小学生陸上教室等各種スポーツ教室事業の実施 ・市民スポーツ祭、少年スポーツ大会等各種大会の実施	継続	・市民が各種目の全国大会や国際大会への出場に対する支援を継続して実施する ・市民の競技力向上に向けた大会・教室等を継続して実施する
	2	スポーツ団体や企業チーム等における競技力の向上を推進する			・地域のスポーツ団体や企業チーム等の試合・大会を積極的に市民周知を図り、スポーツ団体や企業チーム等の競技力向上につながる支援策を検討	・住友陸上フェスタ、ヴィッセル神戸等の市民周知	継続	・市内の民間企業等が実施するスポーツ大会・教室等を継続して市民に情報発信を行う		

令和6年度主な取組内容の検討

政策目標	重点施策		取 組		概要	令和5年度の具体的な取組内容	今後の方向性	令和6年度の取組内容(予定)
さ さ え る ス ポ ー ツ	1	質の高い指導者養成と活用	1	質の高い指導者養成を推進する	・多様な世代、レベルに応じた指導が行える研修会の開催や、他団体が開催する研修会への積極的派遣、公認資格の取得支援や指導者の登録制を実施することで、指導者の質を向上させる	・地域の指導者に必要な研修会の実施及び指導者養成方法等に関する情報の収集 ・毎年度末までにハラスメント防止等の指導者研修会を実施	充実	・スポーツ協会と連携して、市内のスポーツ団体等の指導者に対する指導力向上ならびにコンプライアンス向上のための研修会を実施する ・中学校部活動の地域移行の実証事業を行う地域クラブ活動指導者に対する資質向上に向けた研修会を実施する
			2	スポーツを実施する者の心身の安全・安心を確保する	・各スポーツ団体と連携し、スポーツ分野におけるあらゆる暴力・不適切指導等の根絶に努めるとともに、民間も含めた相談窓口等の周知、事故事例の情報提供や指導者研修を充実			
			3	障がい者スポーツ指導者の養成と組織化を推進する	・障がい者にスポーツの喜びや楽しさを伝えることができる障がい者スポーツ指導者の養成、指導者同士の情報交換や交流、ノウハウの継承が活発に行われるよう、ネットワークの構築を支援	—	継続	・障がい者スポーツ協会と連携して、障がい者スポーツの指導者の養成や指導力向上に向けた研修等の調査研究を行う ・スポーツ協会と連携して、市内のスポーツ団体等の指導者に対する研修会において、障がい者スポーツの指導等の項目も取り入れる等の充実を図る
			4	女性スポーツ指導者及び役員の登用・活用を推進する	・市内のスポーツ団体においては、構成員が男性多数の組織が多いため、女性指導者及び役員の登用・活用を図るよう推進	—	継続	・スポーツ協会と連携して、各種目協会における女性指導者及び役員の登用等を継続して推進する
	2	スポーツボランティアの養成と活用	1	スポーツボランティアのコーディネートを推進する	・ボランティアスタッフ同士が交流できるような環境の整備、ボランティア未経験者への場の提供、ボランティアを行いたい人をつなげるコーディネートに努める	—	継続	・「スポーツの日のつどい」をはじめとした、市内で実施のスポーツイベント・教室におけるボランティアの募集等を行い、スポーツに携わる人材の増加を図る
			2	スポーツボランティアを養成する	・各種大会を円滑に運営するため、スポーツボランティア、スポーツボランティアの中心として活動できるスポーツボランティア・リーダーの養成	—	継続	・「スポーツの日のつどい」をはじめとした、市内で実施のスポーツイベント・教室におけるボランティアの募集等を行い、スポーツに携わる人材の増加を図る(再掲)
	3	連携・協働の推進	1	中学校部活動の地域移行に係る環境を整備する	・中学校部活動の地域移行に向け、大学や民間事業者、市スポーツ協会等、様々な団体と連携し、より質の高い指導者を確保、中学生の心身の育成を理解し、技術の向上に資する指導者の養成を図る、情報を収集し、学校、地域のスポーツ団体やスポーツ推進委員、保護者その他の関係者からなる協議の場を設け、検討する	・市内全8中学校において、各校1部ずつ地域移行の実証事業を実施。9月頃より休日の活動を地域クラブ活動として開始 ・学校、地域スポーツ団体、保護者その他の関係者からなる「伊丹市中学校部活動の地域移行に関する協議会」を開催。実証事業の成果・課題の共有や、今後の進め方について意見聴取(再掲)	充実	・令和6年度も、引き続き市内8中学校において、運動部については各校1部ずつ地域移行の実証事業を実施する ・地域移行の協議会において、引き続き実証事業の成果と課題の共有をはじめ、国の改革推進期間後の本市の地域移行の時期・方法等を検討する ・保護者への理解醸成のための学校説明会の開催や種目ごとに今後の活動のあり方を検討する種目別検討会を実施する ・スポーツ協会をはじめ関係団体との協議を実施する(再掲)
			2	伊丹市スポーツ協会、伊丹市スポーツ推進委員会、伊丹市中学校体育連盟、スポーツクラブ21等の連携・協働を進める	・行政として、各種スポーツ団体がつながるきっかけづくりに努め、交流を支援することにより、団体間の連携・協働を推進	・中学校部活動の地域移行に向けた協議会の構成メンバーとして各種スポーツ団体の役員等が参画し、今後の受け皿となる地域スポーツ団体のあり方等を連携して検討を重ねる	充実	・中学校部活動の地域移行を見据え、種目ごとに今後の活動のあり方を検討する種目別検討会を実施する ・スポーツ協会をはじめ関係団体との協議を実施する(再掲)
			3	行政内の運動・スポーツ・健康福祉・公園などの事業に関する情報の共有を推進する	・庁内において、スポーツや健康・体力づくり推進に係る連絡調整を密に図ることにより、情報を共有し、総合的・効果的なスポーツ施策を推進	—	継続	・関係部局と連携し、市民へのスポーツや運動に関する取組を継続して情報発信を行う
			4	スポーツ団体、学校、民間事業者等の連携・協働を進める	・普段交流が少ない各種スポーツ団体、学校、民間事業者等がつながることのできる環境づくりに努め、人材の交流を図り、民間企業が保有するスポーツ施設の開放が促進されるよう、連携・協働を進める	・民間施設である住友総合グラウンドの利用について、管理会社と協定書を締結し、市・教育委員会主催の各種大会等での利用を通じて、より一層の市民スポーツの振興を図る	継続	・住友総合グラウンドをはじめとした、市内の民間スポーツ施設との連携を継続し、市民対象の各種スポーツイベント・教室等を実施する
			5	阪神間の自治体や県、姉妹都市等との連携・協働を推進する	・引き続き、阪神間の自治体や兵庫県等とのつながりを密にし、スムーズな連携・協働を図る	・阪神間市町スポーツ行政担当者連絡協議会の開催	継続	・阪神間市町スポーツ行政担当者連絡協議会を定期的に開催し、各市町におけるスポーツや運動に関する取組を共有する
	4	顕彰制度の充実		現在、スポーツドクター、ボランティア等についての顕彰制度が整っていないため、新たなスポーツ顕彰制度について検討	・市内スポーツ団体主催の表彰イベントの開催の支援	・市内スポーツ団体主催の表彰イベントの開催の支援	継続	・スポーツ協会と連携して、市内スポーツ団体をはじめスポーツドクター、ボランティア等への新たな表彰イベントについて調査研究を行う
			1	なぎなたやいたっボールなど、伊丹独自のスポーツ文化を推進する	・“なぎなたのまち、伊丹”のさらなるアピールと、学校体育における「いたっボール」の推進や学校対抗大会の実施、更なる普及と競技力の向上	・R6.3にスポーツセンターで「全国高等学校なぎなた選抜大会」の開催 ・いたっボール出前講座、いたっボール大会の実施	継続	・スポーツセンターで実施する「全国高等学校なぎなた選抜大会」を継続して実施する ・出前講座やスポーツクラブ21交流大会等において、いたっボールのさらなる普及と競技者の増加・競技力の向上を図る

令和6年度主な取組内容の検討

政策目標	重点施策		取組		概要	令和5年度の具体的な取組内容	今後の方向性	令和6年度の取組内容(予定)
伊丹ならではのスポーツ	1	伊丹独自のスポーツ文化の推進	2	伊丹市におけるスポーツ文化の情報を発信する	・市のスポーツ文化・伝統的スポーツ（相撲、なぎなたなど）や伊丹にゆかりのあるアスリート等に係る資料を収集し、スポーツ施設をはじめとした公共施設やオンライン環境を活用し、市民へ情報を発信	・これまでの市広報誌やホームページに加え、スポーツ振興課公式Instagramを立ち上げ、各種大会や教室・イベントの様子や参加者募集等の各種情報を発信。	充実	・パリオリンピックやパラリンピックに出場する伊丹出身のアスリートの結果等をはじめ、伊丹大使等のアスリートに関する情報を市ホームページ等で発信する
			3	スポーツフォートやスポーツファッションなどのスポーツアートを推進する	・スポーツとアートを関連づけたイベント等を開催するなど、スポーツを始めるきっかけづくりやモチベーションの向上につなげ、スポーツに親しみやすい環境づくりを実施	—	継続	・「スポーツの日のつどい」をはじめ、各スポーツ施設で実施するイベント等と連携した取組の調査研究を行う
			4	スポーツ団体や地域団体及び周辺地域が連携・協働し、伊丹らしい市民マラソン大会を開発する	・瑞ヶ池周回コースによるマラソン大会を実施するとともに、猪名川河川敷等、新たなコースを活用したマラソン大会の開催を検討	・様々な広報媒体を利活用し、情報発信を行い、市民ロードレース大会、駅伝大会参加者増の取組を実施(カラー刷りチラシの作成、SNSの活用による積極周知)	継続	・例年実施の市民駅伝やロードレース大会について、猪名川河川敷等をはじめとした代替場所の調査研究を行う
	2	子どもや若者が楽しめるスポーツ環境の整備	1	子どもや若者が身近に楽しむことができるスポーツ環境を整備する	・子どもたちが好きなときにスポーツができるよう、公的施設等の活用に向け、関係機関との協議や調査・研究や、オリンピック正式種目に追加された各種スポーツの環境整備を検討	・市内公共スポーツ施設の整備について検討	充実	・令和5年度中に部内で取りまとめた「基本的な方針」をたたき台として、スポーツ推進審議会のご意見を伺いながら、施設整備の基本的な方針及び個別施設の整備の方向性、ならびに短期・中期・長期の検討期間分類等を含む「(仮)スポーツ施設整備基本計画」を策定予定(再掲)
			2	地域のスポーツ施設を整備する	・既存スポーツ施設の有効活用及び長寿命化を基本に、市民のスポーツ実施状況を視野に入れた整備計画を策定し、計画的に施設整備に取り組む			
	3	伊丹出身のアスリートと市民の交流促進	1	伊丹出身のアスリートやコーチと、子どもたちや市民とが交流できる機会を推進する	・今後の事業拡大のため、企業等のクラブチームへの働きかけや、トップアスリート等による地域のジュニアアスリートの育成・強化等に積極的に取り組むクラブを支援することを通じて、トップスポーツと地域スポーツにおける人材の好循環を実現	・元ヴィッセル神戸のコーチによるサッカー教室の開催(1～3月)	継続	・市内の民間企業等と連携して、企業等のクラブチームのトップアスリートによるスポーツイベントや教室等の実施に向けた調査研究を行う
	4	スポーツ情報の一元化	1	市内における公共スポーツの予約システムなどの一元化を推進する	・緑ヶ丘体育館・武道館、市立野球場、猪名川第1・2・3A・3B・4運動広場、古池運動広場、スポーツセンターのほか、公共スポーツ施設の予約システム一元化を推進	—	継続	・現在のスポーツ施設の予約システムへの追加等、予約の一元化について調査研究を行う
			2	ウォーキングやジョギング、サイクリング、スポーツ施設などに関する情報提供を推進する	・ウォーキング、ジョギング、サイクリング等のおすすめコースや立ち寄りスポット、スポーツ豆知識、カロリー消費量などの情報を盛り込んだスポーツマップの作成や既存のスポーツコミュニティに関する情報提供を支援	・他部局・他市で発行するマップの情報収集 ・市広報誌やホームページ、SNSを活用した情報発信の実施	充実	・市内のスポーツ施設をはじめ、市内でスポーツや運動が出来る場所等を一元化したマップ等を作成し、市ホームページ等で広く市民に発信を行う
	5	スポーツにおけるDXの推進	1	デジタル技術を活用したスポーツ活動を推進する	・多様な市民誰もが気軽にスポーツ活動にアクセスできるよう、デジタル技術を活用したスポーツ活動を推進	—	継続	・市内の各スポーツ施設で実施されているスポーツ教室等のオンライン化や動画配信について、調査研究を行う
			2	デジタル技術の活用に関する調査・研究を推進する	・スポーツにおけるデジタル技術の活用に関する情報収集を行い、スポーツ団体・行政・学校等の関係者が共有し、様々な課題への活用等について、調査・研究	・先進市事例の調査研究、デジタル技術の利活用についての情報収集等	継続	・国や県、他自治体におけるスポーツのデジタル技術を活用した取組について情報収集、調査研究を行う